

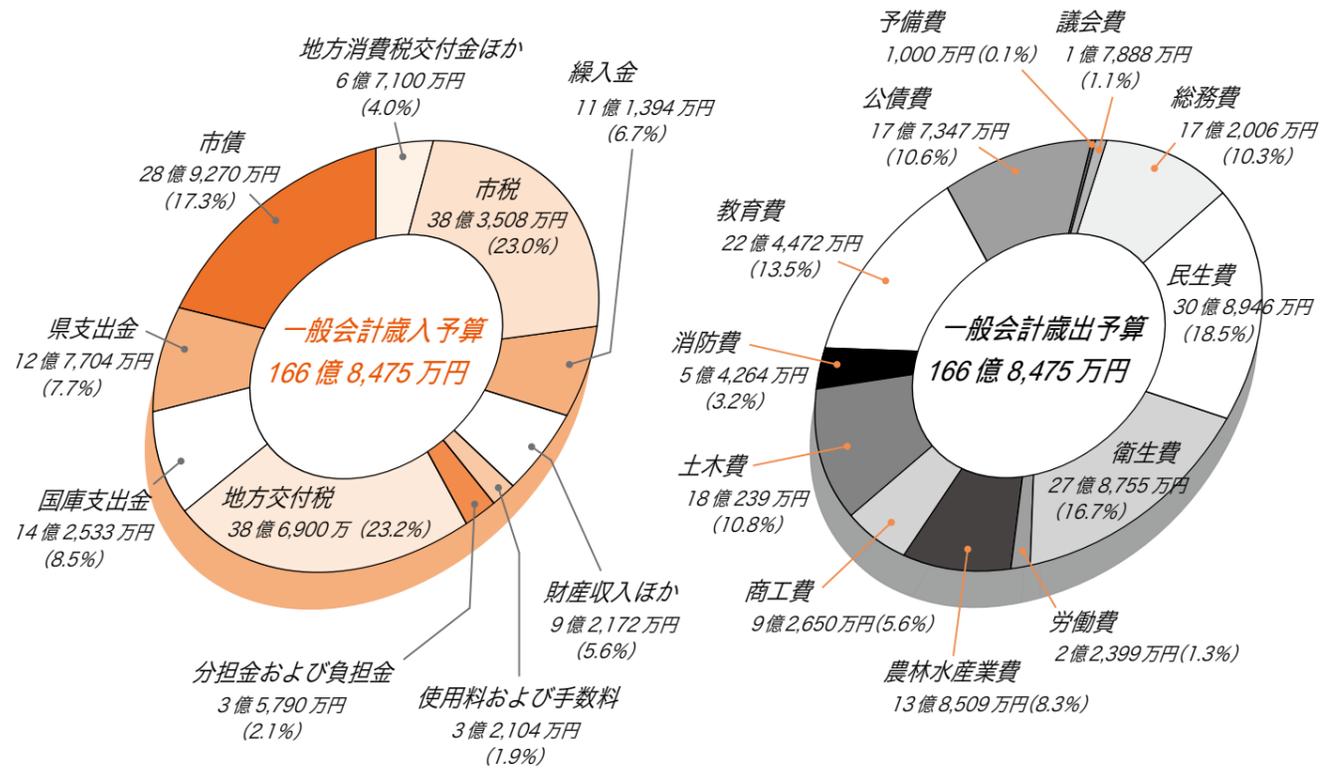
一般会計予算額

166億8,475万円

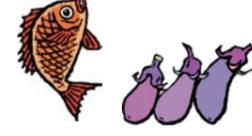
～これまでの準備を基に、大きく前進するための予算編成～

平成19年度の当初予算がまとまりました。一般会計、特別会計、企業会計の総額は299億8,585万円。一般会計では、継続中のリサイクルプラザ等施設、小浜小学校などの建設事業がピークを迎えるため、前年度当初比12.8%増で過去最大規模となりました。

問い合わせ 財政課 内線334
(詳しくは、市公式ホームページをご覧ください)



市民1人あたりにすると **510,284円** で、目的別内訳の主なものは次のとおりです。
(人口32,697人 3月1日現在)

総務費 (課税徴収、防災、戸籍事務など)  52,606円	民生費 (障害者、高齢者、児童の福祉など)  94,488円	衛生費 (環境保全、ごみ処理など)  85,254円	農林水産業費 (農業、林業、水産業の振興など)  42,361円	商工費 (商工業の振興、観光事業など)  28,336円	土木費 (道路、河川、公園の整備や維持管理など)  55,124円	教育費 (学校教育、社会教育、体育施設の維持管理など)  68,652円	公債費 (借金の返済)  54,240円
--	---	---	---	---	--	---	---

【予算編成にあたって】

国の三位一体の改革による地方交付税の大幅な減額などにより、歳入総額が年々減少し厳しさを増しています。一方、歳出では少子高齢化対策、社会保障関連経費および公債費(借金の返済)などの増大が見込まれます。そのため、平成19年度予算編成にあたっては、徹底した歳出の見直しを進めるとともに、政策的経費については事務事業評価を活用して、あらゆる事業の必要性・公益性・緊急性などの点から、次の5つの方針に基づき、幅広い視点でメリハリのある編成を行いました。

行財政改革の推進 将来の礎を築くための予算編成
食のまちづくりの推進 に向けた予算編成
将来を見据えた小浜をいっそう活性化させるための予算編成

市民から提案された事業を取り入れた予算編成

特に、平成19年度は昨年度に引き続き、「リサイクルプラザ等施設の建設」「小浜小学校の建設」「公立小浜病院の整備」「企業誘致のための用地造成」など、将来の礎を築くための大型プロジェクトの仕上げとなる事業費を予算化しています。

昨年、北海道夕張市の財政が破たんしました。財政破たんには「市税や施設使用料の引き上げ」「保育料の値上げ」など、市民への負担が大きくなります。本市としてはこういった事態に陥らないよう、厳しい地方財政の状況ではありますが、今後も身の丈にあった計画的な行政運営、財政の健全化への取り組みを続けていきます。

平成19年度会計別当初予算

会計名	平成19年度	平成18年度	増減率
一般会計	166億8,475万円	147億9,002万円	12.8%
特別会計	124億4,450万円	122億3,781万円	1.7%
国民健康保険	31億6,973万円	30億2,226万円	4.9%
加斗財産区	3万円	3万円	0.0%
簡易水道	9,793万円	8,821万円	11.0%
駐車場	2,936万円	2,695万円	8.9%
老人医療	33億6,506万円	35億4,133万円	5.0%
下水道	27億3,526万円	27億2,824万円	0.3%
農業集落排水	4億4,523万円	4億1,394万円	7.6%
漁業集落環境整備	6,620万円	6,941万円	4.6%
介護保険	25億3,570万円	23億4,744万円	8.0%
企業会計	8億5,660万円	9億8,757万円	13.3%
国民宿舎	1億252万円	1億1,168万円	8.2%
水道	7億5,408万円	8億7,589万円	13.9%
合計	299億8,585万円	280億1,540万円	7.0%

数字は端数調整してあります

このような

事業に使います

オレンジ色の文字で記載した事業は新規事業です（一部新規を含む）。

一産業、生活の基盤づくりー

琵琶湖若狭湾快速鉄道整備早期実現のための積立金	8,750万円
あいあいバス運行経費	8,487万円
若狭西街道整備に係る負担金	1億7,063万円
市道間谷線・府中線の整備	1億4,524万円
小浜縦貫線（住吉～酒井）整備に係る負担金	8,275万円
山手小松原線・臨港線などの整備	9,641万円
舞鶴若狭自動車道関連道路の整備	4億4,940万円



整備が進む若狭西街道。2月25日には生守・谷田部間が開通しました



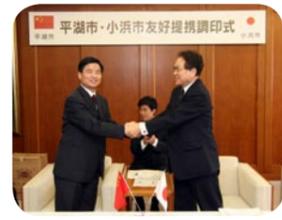
特産作物の推進、水田の高度利用などに補助します

一活力ある産業 観光づくりー

若者に対する就職や仕事の悩み相談所の設置	31万円
特産作物の推進および水田の高度利用などに対する補助	1,140万円
農業生産組織などが機械施設を導入する経費への助成	1,517万円
産地再生を目指す営農集団の施設整備を支援	2,087万円
農地・農業用水などの地域資源の保全に向けた共同活動への支援	582万円
生産性向上と農村活性化のために農道や用排水路などを整備	1億41万円
松くい虫の被害対策・ナラ枯損の被害対策	165万円
漁港整備（宇久・犬熊・田島）	1億3,733万円
企業立地用地に係る造成工事費など	1億6,644万円
市民の健康増進と滞在型観光を推進するため温泉開発を検討	7万円
綾部市・おおい町と連携し観光開発に取り組むための負担金	100万円
映画・テレビドラマなどのロケーション撮影を誘致	133万円

一美食の郷 食のまちづくりー

中国平湖市への市民使節団の派遣、御食国めぐり事業など	247万円
市内飲食店に対して地場産食材の活用推進など	51万円
御食国間のお米の交流事業、感謝の気持ち看板設置事業	62万円
食と文化の交流フェア、ご当地検定試験などを実施	2,561万円
グリーンツーリズム交流、食のまちづくり図録作成など	403万円
食に関する市民の現状を調査し、食育推進計画を策定	66万円
キッズ・キッチンを中心とした食育推進	166万円
学校での食の教育推進、学校給食への地場産食材の活用推進	195万円
市内中学生と姉妹都市の中学生が食の体験学習を通じて交流	31万円



中国平湖市へ市民使節団を派遣します



順調に工事が進む小浜小学校

一人づくりと歴史文化の振興ー

世界遺産暫定リスト登録を目指し、推進委員会、講演会を開催	62万円
山川登美子記念館の施設維持経費	400万円
歴史的建造物などの復元に向け、復元構想策定委員会を設置	60万円
平成20年度統合予定の下根来小と遠敷小の学校間交流	10万円
小中学生の海外派遣事業、海外児童招へい事業	130万円
学校復帰や立ち直りに向けた「サポートチーム」の組織など	358万円
各小学校にAEDを購入	419万円
小浜小学校建設費	11億7,937万円
公民館・小学校の空き教室を利用した体験活動などを実施	301万円
天然記念物蒼島の保存管理計画を策定	200万円



キッズ・キッチンを中心とした食育事業を推進します



世界遺産暫定リスト登録を目指した講演会を開催します

一心やすらぐ福祉 環境のまちづくりー

DV関連の相談員を設置	203万円
障害者自立支援法の関連事業（27事業）	4億710万円
後期高齢者医療制度の運営主体である広域連合への負担金	1,354万円
ひとり暮らし老人に対する悩みごと相談、食事サービス	108万円
65歳以上のひとり暮らしを対象に緊急通報装置を設置	831万円
乳幼児医療費助成事業を拡大	5,090万円
保育園児・小学生の親を対象とした健康的な食生活の普及	53万円
環境経営システム「エコアクション21」の認証取得経費	98万円
火葬場新設に向けた準備経費	9万円
リサイクルプラザなどの施設建設費	15億1,219万円



乳幼児医療費の助成額を拡大します



昨年11月、市民提案の1つ「わかさ路快速」が運転されました

一健全な財政運営と市民の行政への参画ー

「歴史街道を歩く」「ふるさと探訪」を収録した記録誌を発刊	94万円
山川登美子記念館開館記念イベント支援事業への補助	94万円
子育て家庭のコミュニティ広場設置、一時保育サービスの提供	94万円
山林の立ち枯れと荒廃を食い止め、森林再生の方法を探る調査費	24万円
雲浜・西津・内外海・国富の4地区主催でイカダ流し大会を実施	50万円
中名田地区の田村薬師旧跡地の整備、案内看板設置など	94万円
（仮称）放生祭記念誌作成事業に対する助成	50万円
いきいきまちづくりプラン推進事業に対する各地区への補助	540万円

網掛け部分は市民提案事業